

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第7回高松市文化芸術振興審議会
開催日時	平成31年1月8日(火) 19時00分～20時30分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1) 次期計画(案)について (2) その他 今後のスケジュールなど
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	青山委員、金川委員、鹿庭委員、鎌田委員、島田委員(副会長)、多田委員、田中委員、谷委員、橋本委員(会長)、若井委員 計10人 (欠席5人 甘利委員、北岡委員、木ノ下委員、林委員、水嶋委員)
傍聴者	0人 (傍聴席4人程度を確保)
担当課及び連絡先	高松市文化芸術振興課 087-839-2636

### 審議経過及び審議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。また、会議に先立ち、橋本会長から本日の会議について、原則公開とすることを説明し、出席委員全員がこれを了とした。

#### (1) 次期計画(案)について

次期計画(案)については、前回の審議会での議論及び前回審議会を欠席した委員を含めて、意見を募る期間を設けた上で、寄せられた意見を反映させたものである旨、事務局から説明を行った。

また、次期計画の具体的取組に大学等との協働・連携を追加した点、目標値の設定に係る考え方等についても併せて説明を行い、次のとおり意見があった。

#### <計画本文の文言について>

(委員)

- ・文化芸術により生み出される価値という表現を、文化芸術により生み出される意味や価値に改めてはどうか。例えば鑑賞であれば、作品を鑑賞しながら自分なりの意味をそれぞれが作り上げ、そこに価値を見出す流れとなる。

- ・本文中4つの方針とあるが、方針という言葉を態度や行動指針とした方が、適切ではないか。

- ・具体的取組に大学等との協働・連携を追加した点は評価できるが、大学と文化施設との連携・協働に係る記載を加筆してほしい。

- ・興味のない方にも足を運んでもらえるよう、文化施設における新しいプログラムの創出について記載すべき。
- ・シビックプライドの醸成に関する記載を追加してはどうか。
- ・本文中に記載されているプラットフォームについては、民間企業も参加できることが望ましい。
- ・新しい文化芸術の領域として、コンテンポラリーダンスが例示されているが、現在は新たな概念ではなくなっている。

その他、文言の修正や文章の構成等について委員より提案があり、本日提案があった意見を反映させた計画案を事務局で再度作成し、橋本会長に協議のうえ決定することとなった。

(2) その他 今後のスケジュールなどについて

高松市長に対する審議会からの答申日程やパブリックコメントを含む、今後のスケジュール等について事務局から説明を行った。

以上をもって、本日の会議を終了することとした。

以 上